学校番号	312

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	基礎数学 A	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基礎数学 A は主に小学校・中学校の復習問題を扱います。
・授業では「今回の授業の目的を明示　⇒　課題の確認　⇒　問題解決方法の検討
⇒　問題演習　⇒　協同学習　⇒　授業内容のまとめ」のサイクルで毎回の授業を進め、数学の好きな人，嫌いな人とともにレベルアップを図ります。
・独自の学習教材を用いて行い、毎回授業で使用したプリントを提出してもらいます。
・クラス内での教え合える時間を作りますので、全員でがんばりましょう。
・少し難しい内容の教材もプリントに入れていきます。さらに上をめざす人はどんどん問題を解いていき、各自の数学のレベルアップをしていきましょう。
家庭学習で行う際には、問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。
答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
数や多項式の四則演算、割合や図形などの復習を通して、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。
【思考力、判断力、表現力等】
事象を数学的に考察する能力を培い、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
学んだことを数学的に活用する態度を育む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	四則演算や割合、図形の性質についての基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して四則演算や割合、図形の性質についての数学的な見方や考え方を身に付けている。	四則演算や割合、図形の性質について考え方に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数の計算	整数の四則演算 小数の四則演算 分数の四則演算	a:四則演算についての原理を理解し、計算して求めることができる。 b:四則演算の計算方法について考察し表現することができる。 c:四則演算の計算方法を考え、適切に計算しようとしている。	補助プリント 定期考査	補助プリント 定期考査	授業観察等
2学期	割合	単位の変換 速さ 割合	a:長さ、重さ、体積、時間などの性質について、意味を理解し、解を求めることができる。 b:長さ、重さ、体積、時間などの性質について、与えられた問いに対して考察し、式を用いて表現することができる。 c:長さ、重さ、体積、時間などの性質について、与えられた問いに対して、問題を解決できるように考えようとしている。	補助プリント 定期考査	補助プリント 定期考査	授業観察等
	図形の性質	同位角･錯角 円周角の定理 図形の面積 図形の表面積 図形の体積	a:平面図形・空間図形の性質について、意味を理解し、解を求めることができる。 b:平面図形・空間図形の性質について、式を用いて表すことができる。 c:平面図形・空間図形の性質や関係を数学的に表現することに関心をもち、事象の考察に活用しようとする。	補助プリント 定期考査	補助プリント 定期考査	授業観察等

3学期	文字式を含む計算	文字式の四則演算	a:文字式を含む計算について、原理を理解し、計算して求めることができる。 b:文字式を含む式についての計算方法を考察し表現することができる。 c:文字式を含む式についての計算方法を考え、適切に計算しようとしている。	補助プリント 定期考査	補助プリント 定期考査	授業観察等
		展開				
		因数分解				
		1次方程式				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度